

(表)

世帯調書

申請者名					本人氏名 (対象者)					
児童の 属する 世帯 構成	(1) 世帯構成員名	続柄	性別	生年月日	個人番号	職業 (勤務先)	(2) 階層 区分	(3) 市町村民税 所得割額	(4) 備考	
(5) 世帯外扶養義務者	氏名									
	住所									
	氏名									
	住所									

(裏面の記載要領をよく読んで記入してください)

記 載 事 項

- (1) 「世帯構成員」とは、児童本人と生計を一にしている者をいいます。本人を含めて全世帯構成員を記載してください。
- 「扶養義務者」とは、父母、祖父母、兄弟姉妹その他家庭裁判所で扶養の義務が負わされた叔父、叔母等の民法第 877 条に定められている者をいいます。次の(2)及び(5)を参照してください。
- (2) 「階層区分」の欄には、児童本人、扶養義務者について次に掲げる場合のいずれに該当するか記号で記載してください。なお、注(1)を参照してください。
- a 生活保護法の被保護者又は中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律による支援給付受給者である場合（生活扶助のほか医療扶助等を受けている場合も含まれます。）
 - b a に該当する場合を除き、当該年度分(4月から6月までの間に養育医療の給付の申請をする場合にあつては、前年度分。以下同じ。)の市町村民税が非課税の場合
 - c a に該当する場合を除き、当該年度分の市町村民税が均等割のみ課税されている場合
 - d a に該当する場合を除き、当該年度分の市町村民税の所得割が課税されている場合
- (3) 階層区分が d である者（児童の扶養義務者で市町村民税の所得割を課税されている者）については、その市町村民税の所得割額を記載してください。
- (4) 世帯構成員中本人以外の児童が、育成医療の給付、養育医療の給付又は療育の給付を受けているとき、又は受けることが決定しているときは、その旨を備考欄に記載してください。
- (5) 「世帯外扶養義務者」の欄には、世帯構成員以外で現に児童本人に対して扶養を履行している扶養義務者がいる場合のみ記載してください。

注(1) 扶養義務者の階層区分について、次の例により、それを証明する関係書類を必ず添付してください。ただし、18歳未満の扶養義務者で未就業であるものについては、関係書類の添付は不要です。

- (a) 階層区分 a の証明……被保護者であることを証明する居住地の福祉事務所長又は市町村長の証明書
- (b) 階層区分 b の証明……市町村民税が非課税であること又は免除されていることを証明する市町村長の証明書
- (c) 階層区分 c の証明……市町村民税額を証明する市町村長の証明書
- (d) 階層区分 d の証明……市町村民税額を証明する市町村長の証明書

注(2) 階層区分 b～d に該当する場合に添付する市町村長の証明書は、養育医療給付申請書及びこの調書に個人番号を記載の上、養育医療の給付の決定事務に関し地方税関係情報を取得されることに同意した場合は、不要です。

注(3) 申請後給付が終了するまでの間に上記記載事項に変更が生じた場合は、摂津市に届け出てください。